

# DXA法骨密度測定装置 を導入致しました

## 2019年9月20日より検査を開始します

当院は腰椎・大腿骨・前腕に加え、体組成(全身の骨・脂肪量・筋肉量)まで測定できるDXA法骨密度測定装置を導入しました。

【骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版】では「骨粗鬆症診断にはDXAを用いて、腰椎と大腿骨近位部の両者を測定することが望ましい」と記されています。DXAはX線での検査ですが、低被曝※で高精度な測定が行え、高齢化社会に向け寝たきりを防ぐために骨粗鬆症の診断や予防の一環として効果を発揮する検査です。

(保険診療で4か月に1回検査可能)

※患者被曝量 腰椎 $37\mu\text{Gy}$  大腿骨 $37\mu\text{Gy}$  前腕 $2\mu\text{Gy}$  体組成 $0.4\mu\text{Gy}$   
 $37\mu\text{Gy}$ は通常の胸部一般レントゲンの約1/6程度に相当します。



GE社X線骨密度測定装置 PRODIGY FUGA

### 予約の流れ

放射線科直通電話 **077-545-2508** にお電話ください。  
 (月~金)8:30-18:00 (土)8:30-17:30

撮影部位を確認させて頂き、検査日時をお知らせします。

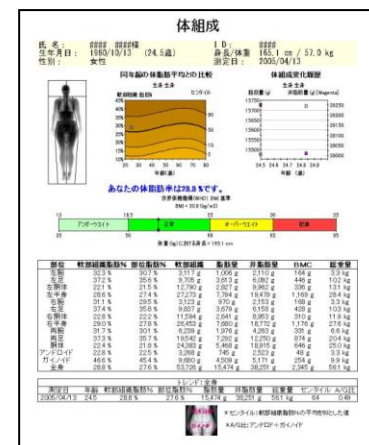
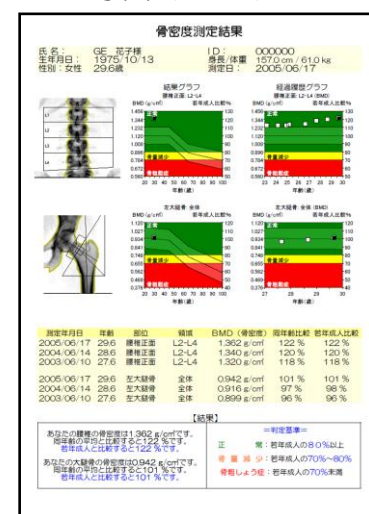
診療情報提供書に **検査部位**と**身長・体重**を記入し、患者さまにお渡しください。  
 (例：腰椎・両側大腿骨近位部・体組成)

患者さまは予約時間の30分前に来院してください。  
 病院受付に診療情報提供書・保険証を提出し手続きをしてください。

検査終了後、速やかに解析を行い検査結果を紙面またはCD-R※にて、患者さまにお渡しします。 ※ 予約時に伺います

患者さまへの結果説明は、依頼施設様でお願いします。

### 解析結果



- ・ 10~15分寝ているだけの検査です。
  - ・ 計測時間は腰椎 約30秒、大腿骨近位部片側 約30秒、前腕片側 約22秒、体組成 約5分間です。
  - ・ 体組成は骨量・脂肪量・非脂肪量を測定します。
- 主にサルコペニアの診断に應用やリハビリ中の患者さまの筋肉量評価、透析患者の身体管理に用いられます。  
 被曝は少なく、腰椎や大腿骨検査に追加しても患者さまの金銭的負担はありません。 ※体組成のみの検査は行っておりません

### ご注意

以下の方は検査を受けられないことがあります。予約時にお知らせください。

- ・ 妊娠または可能性がある
- ・ 1週間以内にバリウム検査またはRI検査を受けた
- ・ 仰臥位が出来ない
- ・ 手術歴がある(腰椎・大腿骨・大動脈・下大静脈)